

【日時】2024年7月13日(土) 12:30~14:30

【会場】マリオス187会議室

Web開催(ZOOMミーティングでのオンライン参加)

【出席者】(敬称略)(oは、オンライン参加を示す。)

代表理事：坂口 繁治(全県)

理事：北向 細子(盛岡)

熊谷 雅順(全県)

斉藤 穰(全県)

栗津 優(全県o)

菊池 一希(全県o)

高橋 洋子(全県o)

菅野 充(中部)

高屋敷 大助(沿岸o)

佐藤 雅子(全県)

白畑 勇(全県)

熊谷はるえ(全県o)※代理

寺崎 拓也(全県)

高橋 正之(全県)

和蛇田 達也(二戸)

昆野 宏彦(胆江)

千田 富士夫(気仙)

西尾 卓樹(全県)

小笠原 隆(全県o)

阿部 明典(全県o)

千田 修(全県o)

佐々木 美幸(全県o)

関澤 裕子(盛岡)

小原 良子(両磐o)

監事：阿部 鮎美(o)

相談役：高橋 勝

(計：26名)

【欠席者】(敬称略)

理事：泉 伸(久慈)

監事：菊池 寛

相談役：佐々木裕彦

(計：3名)

議事

1. 開会

2. 挨拶(坂口会長)

今年度の新会員45名。新卒者より通信教育修了者等の加入が多い。福祉分野で管理職を務めるのに社会福祉士資格が必要になっているのではないかと。ニーズに対応できるよう活動を検討していきたい。

会員名簿現況届による一斉送信登録者が409名あるが情報共有のしくみは課題。その他、役員改選、規程の改正等が本日の議題となるので、ご協力をお願いしたい。

3. 理事会成立報告

理事24名の出席。定款第33条の理事過半数を上回り、本理事会の成立を確認した。

4. 議長選出

定款第30条に基づき坂口会長が議長を務めることについて、理事の承認を得た。

5. 報告事項

(1) 定款第21条3項による職務執行状況

ア 定款第21条3項による職務執行状況 事務局運営の進捗

○6/15 日本社社会定時総会(坂口)

被災地社会福祉士の会費の減免。いじめ調査の重大事態への対応、被害者支援に係る社会福祉士の活用、子ども家庭SW認定資格に係る養成研修の開催、社会的養護の意見表明支援事業、等

○「自治体社会福祉士の支援を考えるWT」(千田)

自治体に所属する会員の把握するため各ブロックへ報告を依頼中。

今後、会員のニーズを明らかにしたい。

イ 各理事(委員会・ブロック)からの情報提供

○ばあとなあ（白畑）

6/22 運営委員会

- ・法人後見は検討を継続。
- ・体制強化のため来年度から盛岡、沿岸、中部、胆江は運営委員を1名ずつ増員し、研修部会を設置することを検討中。
- ・来年度から家裁の報告書の統一様式が導入される見込み。等

○地域共生社会委員会（斉藤）

7/28 更生支援計画作成に係る研修会 開催

ウ その他

(2) 2024 ソーシャルワーク三団体の開催について（寺崎）

7/20（土）LGBTQ+をテーマとして開催。本日申込〆切。参加の検討をお願いしたい。

(3) その他

6. 協議事項

(1)2024 社会福祉士東北・北海道研修大会（山形大会）について（西尾）

- ・日時：9月28日（土）～29日（日） ・会場：山交ホール（P10 参照）
- 1 日目グループワークについて実習指導者委員会からの参加を検討してほしい。
- 2 日目:岩手県からは妊娠 SOS の取組（善友乳児院）を発表予定。（坂口）

(2)能登半島地震における被災者支援活動協力について（西尾）

- ・P12～現状では岩手県士会から3名（盛岡1名、中部2名）派遣予定。
- 協力自体は任意だが、各ブロックで会員へ周知いただきたい。

(3)慶弔規程の制定について（熊谷）

- ・P16～のとおり説明。

《質疑》

- ・慶弔規程の制定自体は賛成。予算書に見当たらないが、どのように考えているか。（小笠原）
→昨年度対象となった案件は4件ほど。次年度からは当初予算計上としたい。（坂口）
- ・施行時期はいつとするか。（阿部）
→10月理事会承認とし、2024年4月に遡及して施行したい。（坂口）
- ・申請が遅れた場合に、どのくらい遡れるかも検討いただきたい（阿部）
→条項追加を検討したい。（坂口）
- ・第7条「本会の業務に起因して負傷又は被病し…」の範囲をどのように考えるか整理してほしい。（関澤、菅野、小原）
- ・告別式等に出席するのはブロック。申請事務等はどこが行うのかを明らかにする必要があるのではないか。（昆野）
- ・事実を証明するための添付書類等が必要かどうか、整理してほしい。（千田）

→10月理事会までに、事務局で検討することとした。

(4)就業規程の制定について（熊谷）

- ・P17～のとおり説明。

《質疑》

- ・職員就業規程（案）について、今まで規程はなかったのか。また、あったとしたら「制定」ではなく「改定」ではないのか。
- 税理士より退職引当金の根拠を整理する必要がある旨の指摘があり、制定することとした。前規程は存在するが、運用されていなかったため、改めて制定とするもの。事務局職員の位置づけは契約職員。（坂口）

→10月理事会までに意見があれば事務局まで。

(5)謝金等支払基準に関する規程の制定について（熊谷）

・P17~のとおり説明。

《質疑》

- ・演習のファシリテーター等の減額はあるか。（斉藤）
→基準8を適用する。（坂口）
- ・この規程を委託事業以外の研修等に適用するという考え方で良いか。（阿部）
→そのとおり。（坂口）
- ・この規程があることで、相手方から講師謝金の照会があった場合にも対応しやすい。（千田）

→10月理事会までに意見があれば事務局まで。

(6)会員情報管理・メール配信システム【WEBCASe-mail 2024 クラウドサービス】について（高橋）

会員現況届の提出について、手書きがほとんど。

会員数の増加に伴い、各会員が会員情報を入力（変更）する形に切り替えることを提案する。

○エクナ(株)見積額 《初期費用》50,000円 《月額費用》10,000円/月

《質疑》

- ・ブロックごとの運用は可能か。（西尾）
→切り分け可能だが権限付与に制限あり。一度事務局で預かる形になると思われる。（高橋）
- ・事務局負担が増えるのではないか。（関澤）

→エクナと契約の上、実際の運用に向けることとした。

(7)岩手県社会福祉士会の名刺作成について（熊谷）

社会福祉士として名刺を作成する場合には、P30～日本社福士会のガイドラインを参照すること。
所属する会社や事務所等の役職名は記載できないので注意。

(8)第三期中期計画の推進について（坂口）

P32～に基づき情報共有。

(9)その他

7. 議決（承認）事項

(1)岩手県社会福祉士会役員選出細目の改正について（熊谷）

P34 役員選出細目（案）のとおり提案

《質疑》

- ・役員選出規則細目（案）において1.理事の定数に2025年年度定時総会時に改選される（第19期）役員改選の理事定数は25名とする。とあるが、役員選出規則には理事15人以上26人以内となっている。25名としたのはなぜか。理由はあるのか。
- 各委員会、各ブロックからの代表、正副会長を積み上げた最低数として25名とした。（坂口）

→役員選出細目（案）のとおり承認された。

(2)2025/2026 役員選出選挙管理委員会の公募について（熊谷）

P35 選挙管理委員会委員の公募について（案）について説明

- ・選挙管理委員推薦ブロック（資料修正）：二戸、久慈、盛岡、中部、胆江
10/12 第1回の選挙管理委員会までに各ブロックから委員の選出をお願いしたい。

→選挙管理委員会公募（案）のとおり承認された。

(3)会員の入会大会の承認について（熊谷）

転入者2名、転出者2名、新規加入者38名、退会者2名について報告。

→異議なく承認された。

(4)その他

8. その他

9. 閉会

<今後の職務執行予定>

- ・ 7月20日(土) ソーシャルワーク三団体研修
- ・ 7月20日(土) 基礎研修Ⅱ(2回目)
- ・ 7月27日(土) レポート・論文作成研修会
- ・ 7月27日(土) 基礎研修Ⅰ(1回目)
- ・ 7月28日(日) いわてリハビリテーションセンター30周年記念事業
都道府県ぱあとなあ連絡協議会(Web開催)
- ・ 8月3日(土) 基礎研修Ⅲ(3回目)
- ・ 8月17日(土) 基礎研修Ⅱ(3回目)
- ・ 8月19日(月)～20日(火) 障がい相談支援従事者初任者研修(演習Ⅰ・Ⅱ)
- ・ 8月24日(土) SSWrスキルアップ研修
- ・ 8月24日(土) ぱあとなあスキルアップ研修(2回目)
- ・ 8月29日(木)～30日(金) 障がい相談支援従事者初任者研修(演習Ⅲ・Ⅳ)
- ・ 8月31日(土) スーパーバイザーアップデート講座・情報交換会
- ・ 9月7日(土)～8日(日) 日本社会福祉士会会長会議(東京)
第2回生涯研修委員会
- ・ 9月28日(土)～29日(日) 社会福祉士東北・北海道研修大会(山形大会)
- ・ 9月28日(土) 第2回全国生涯研修委員会(東京)
- ・ 10月12日(土) 第3回理事会
- ・ 10月13日(日) 介護支援専門相談員試験監督事業

2024年7月13日

一般社団法人岩手県社会福祉士会 2024年度第2回理事会議事録は、当日の議事内容に相違ないことを認め、記名押印する。

議長 坂口 繁治 印 監事 阿部 鮎美 印